広報
しべつ
11
1997
萌える海と大地　さわやか交流郷
No.369

標津町中学生海外研修派遣事業でカナダに旅立った中学生10人――。国際交流で「みんな友達」に。
（写真：ホームスティ先のカナダの子どもたちとの夕食の際、ヨサコイ・ソーラン踊りを披露し、交流を深めました）

みんな友達だよ

主な記事

◆海外研修派遣中学生と町長の座談会

平成九年度標津町中学生海外研修派遣事業がカナダを研修先に、九月二十二日から十月三日の十二日間の日程で行われました。

派遣されたのは町内の中学生十人。言葉の壁や生活習慣の違いで緊張の連続だったようですが、貴重な体験をしたことと思います。

そこで、中学生十人の「感動と発見の十二日間…」について中学生と小田桐町長の座談会を開きました。

☆派遣の目的☆

二十一世紀に向け、社会の変化に対応する標津町の次代を担う中学生が海外の歴史・文化・自然にふれ、社会生活を体験し広く知識を吸収することによって正しい国際感覚を養い、さらに「創造と挑戦」を実践するたくましい「標津人」として飛躍することを願い海外に派遣する。

の12日間…

と町長の座談会～

町長　みなさん、こんにちは。十二日間の海外研修ご苦労様でした。大変お疲れのことと思います。

この事業は平成二年度から始まりました。当時の竹下首相がふるさと創生資金として全国の市町村に一律一億円を交付。そこで本町では、一億円の利息を「研修交流」や「まちづくり振興」に役立てようと「ひかりこ基金」を創設。研修交流については、国内にとどまらず外国にもと始まったわけです（中学生の事業は現在、単独で実施）。

それでは、みなさんからカナダでの体験をもとにお話を伺いたいと思います。

あくせくしないカナダの人たち

町長　はじめに、カナダに行って強く感じたことは――。

石井　ヨーロッパ風の家や自然がきれいだった。また、サケの保護のためにボランティアの人たちがたくさんいたこと。

高橋(亜)　水の味が標津と違う。

森岡　カナダの人は、日本人のようにあくせくしないで生活している。また、日の長いことに驚いた。夜八時ぐらいまで明るかった。

熊谷　制服がなく、みんな私服だった。また、車椅子を使用しているような障害をもつ人も同じ普通の学校に通っていることに驚いた。そのほか、ふ化場に行ったときに、カナダでは、日本のような人工ふ化ではなく、なるべく自然ふ化させている。木から虫が落ちて魚がそれを食べることから、木がとても大切だということも感じた。

笹木　自分たちのことをわかってくれようと努力してくれたことに感動した。

町長　**私も九月にカナダを訪問しましたが、すばらしい自然と人に感動。例え人種が違っても心を通わすことができることを強く感じました。ホームステイ先で感じたことは――。**

山崎　相手が話す難しい発音の単語の理解が難しかった。買い物の時も一ドルか一九九ドルか聞き取りが難しかった。

柏谷　自分の言葉が相手に通じなくて困った。

森岡　ほとんどの家は地下室があり、一つ一つの家に番号が書かれてあった。

町長　**授業や先生の様子はどうでしたか。一学級は何人くらいでしたか――。**

高橋(絵)　三十人くらい。

工藤(オ)　一学級約二十五人で、日本では一学級に四十人もいると聞いてカナダの先生は驚いていた。

町長　**生徒の印象は――。**

石井　自分たちに積極的に話

バーノンの小学校で折り紙で交流（写真上）。標津サーモン科学館と姉妹間提携を結んでいるキャピラノふ化場にて（写真下）

感動と発見。

～海外研修派遣中学生

座談会出席者
―敬称略―

林　強徳〈薫別中2年〉

笹木　早苗〈川北中3年〉

森岡　美幸〈標津中3年〉

熊谷可奈子〈標津中3年〉

佐藤　智美〈標津中2年〉

高橋　亜美〈北標津中3年〉

山崎　彰雄〈古多糠中3年〉

柏谷奈都子〈川北中3年〉

高橋　絵美〈標津中3年〉

石井　文人〈標津中2年〉

オブザーバー・研修随行者
工藤智恵子（標津小教諭）

10月16日、生涯学習センター「あすぱる」で開かれた座談会

しつけは厳しい。反面すごくやさしい

町長　日本とカナダの生活習慣の違いは――。

林　しつけは厳しいけれど、それ以外はすごくやさしい。しかけてくる人が多かった。

森岡　服装は自由で、セーラー服は着たことがないと言っていた。

町長　カナダに行く前は不安があったと思いますが、行ってからはどうでしたか――。

佐藤　不安はまったくなかった。

森岡　言葉が通じるか心配でしたが、ホストファミリーの方が日本語を勉強している方だったので、日本語が通じ安心した。

笹木　相手が自分の話を一生懸命努力して聞いてくれていたので良かった。

町長　標津町の外に出て見えた標津町の良いところは――。

森岡　標津はカナダよりも道がなだらかで良い。

日本はもっと緑を大切にしなければ

町長　カナダの良かったところは――。

柏谷　道路にゴミが落ちていたりすると、自分で拾ってかたづけている。

森岡　障害をもつ人も一緒の学校に通っていて、差別をすることもないのが良かった。

佐藤　多くの人が、家族と一緒にいる時間を大切にしている。

熊谷　大きな町の中でも木々や緑がたくさんあり心が安らぐ。日本でももっと緑を大切にして環境を良くできれば。

高橋(絵)　「自由」と「人の温かさ」を感じた。それは学校だけではなく普段の生活の中にも感じた。

外国に対する考え方が変わった

町長　研修を終えて、自分自身の気持ちや考え方の変化、そのほか、まちのことや人のことなどで気付いた点があれば話してください――。

佐藤　外国に対する考え方が変わった。どんな国でもいいのでまた行って学んでみたい。

高橋(絵)　カナダの人は、オドオドしている私にとても温かく接してくれました。私ももっと積極的になりたいと思った。

山崎　カナダの人は日本人と違ってはっきりとものを言うので、自分もあいさつなどでもはっきり言うようになった。

高橋(亜)　人は、見た目とかはあまり関係なくて、話をしてみないと相手を良く理解することができないと思った。人と話をすることの大切さがよくわかった。

林　いろいろなことにチャレンジしてみたくなった。

石井　自分の気持ちをはっきりと出すことの大切さが良くわかった。

森岡　みんなのことを考えて行動するという大切さを先生や友達、カナダの人に学んだ。

熊谷　日本では授業中になかなか言葉がでなくても、現地では以外と言葉がでてきた。

柏谷　カナダの人はみんな優しかった。

笹木　英語をもっと勉強してまたカナダに行き、カナダのことを学んできたい。

町長　みなさんのお話を聞いて、カナダに研修に行ってもらい良かったと思います。心を開いて表に出ることはとても大切なこと。それぞれが感じたことを普段の生活に活かしてください。ある著名人の言葉に「アジアのアジア人の中の日本人であれ」という言葉があります。「広く世界を見れる日本人であれ」という意味ですが、今回の経験を大いに活かして、また勉強に励んでください。

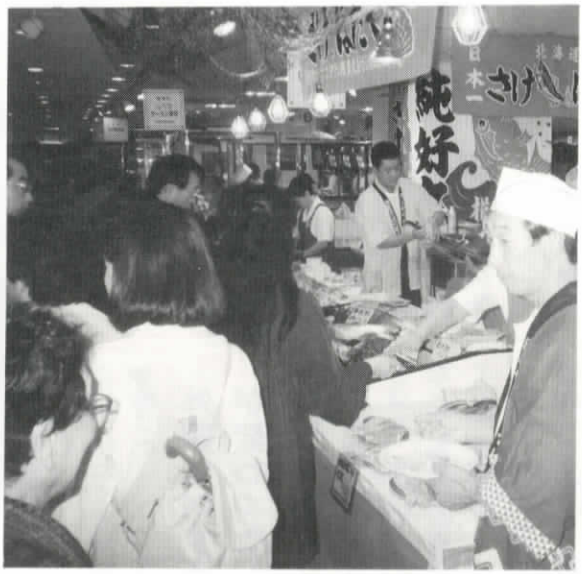
実を結んできた「サケ ホタテ 消費流通活動」

サケやホタテなど本町の水産物の消費促進と販路拡大を目指し、平成六年に発足した標津町サケ・ホタテ消費流通対策協議会（戸田雅彦実行委員長）の活動が四年目を迎え、その成果が大きく実りつつあります。

同協議会は発足当時から「標津魚の日」を継続して開催。サケやホタテなどを安価で提供し町民から「新鮮な地元の水産物が買い求められる」と好評を博しています。

また、一方では東京など大手百貨店に出向き、店頭に漁業者自らが売り子となり、サケなどの売り込みを熱心に展開。そのかいあって、三年目の昨年「標津番屋鮭」や筋子、ホタテなどが年末、中元のギフトとして新宿小田急百貨店を通じて関東周辺で販売され、四年目を迎えた今年は、同百貨店地下の魚販売コーナーに年間を通した標津産のイクラなどの常設販売コーナーが今月から設置される見通しとなりました。

さらに九州地方では、大手スーパー・ジャスコの十二店舗で観光と物産の「標津フェア」を開催。標津ブランドの定着に大きな実績をあげており、すでに昨年から新巻、ホタテの通年販売が実現。今年は昨年の二倍を越える受注が地元によせられたほか、新たにイクラが加わるなど着実に活動の成果が現われてきました。



東京・小田急百貨店で標津産のサケなどの水産物を売り込むサケ・ホタテ消費流通協議会実行委員会のメンバー　＝今年10月＝

▽南憲二副実行委員長の声

今までの活動の中で特に印象に残っているのは、大消費地・東京小田急百貨店での販売。直接、消費者と向き合い、焼きたてのサケを試食してもらい「とてもおいしいですね」と、そう言って購入していただいたことで自信を深めていきました。

四年間、このような一貫した販売戦略が実を結び、販路の拡大につながってきたと思っています。

▽朝倉勝美標津郵便局長の声

地場産品のふるさと小包みの発送による地域活性化を図ることを目的に郵便局では「魚の日」に臨時郵便局を開設し、サケやホタテを発送しています。昨年の取り扱い個数は約九百個にも。年々増加傾向にあり、遠くは九州、大阪、東京方面にも発送。標津の旬の味が全国各地にわたり、まちのPR効果は大きいと思います。

年間の主な消費流通活動

◇「標津魚の日」開催

八月～十二月の毎週土曜日

サケやホタテを販売

◇道内での販売活動

東神楽町で地場産品を販売

◇大消費地での販売活動

東京・小田急百貨店で十月上旬に「標津フェア」を開催。サケ切り身を中心に地場産品の売り込み。歳暮・中元時期に番屋鮭、筋子、ホタテのギフト商品販売。通年でイクラ、ホッケ販売

九州ジャスコで十月～十二月開催の同十四店舗での「北海道フェア」に参加。サケ、ホタテ、イクラの販売。同時に標津観光展開催。同店舗で通年でサケ、ホタテ、イクラを販売

◇マスコミ対策

マスコミに積極的に「サケのまち標津」をPRし、訪れたマスコミに精力的に対応。標津産水産物のブランド化の定着に努める。

周年操業体制目指し
サクラマス稚魚18万尾放流

春季の貴重な資源として期待されている「サクラマス」の幼魚放流が十月十五日、水産庁さけます資源管理センター根室支所（さけますふ化場根室支場から十月一日改称）の主体で実施されました。

この春、ふ化して伊茶仁、中標津、根室の各事業場で約七センチ・七グラムまで成長した幼魚十八万尾が同支所根室支場と町職員の手によって各事業場の飼育池からトラックの荷台に設置された水槽に移し替えられ＝写真＝、そのまま標津川水系などの放流適地に輸送して通水パイプを使って直接各河川に放流。サクラマスは町が進めている周年操業体制、いわゆる五月～六月のサクラマス、七月～八月のカラフトマス、九月～十一月のサケが生産できる操業体制の一貫としてその増殖に期待をかけている資源。毎年、0才の幼魚が春と秋、一才の幼魚（スモルト）を春にと合計約百万尾が同センターによって放流されています。

具体的な経営対象魚となるためには長い年月が必要となりますが、何といっても河川での親魚、幼魚の保護を地道に続けながら放流数の増大を国、道に強く要望し続けていかなければなりません。

そのためにも、資源保護への理解と協力をみなさんにお願いするとともに、町としても漁業団体と連携して同センターの事業支援を行っていきます。

全戸にサケ無料配付
サケ定置部会

標津漁協サケ定置部会（馴山修治部会長）は、町民への還元と消費拡大を目的に十月九日、定置網漁業者などを除く町内全戸に秋サケを無料で配布しました。

2,101世帯に1戸当たりオス2尾、合計4,202尾を配布。受け取った町民は思わずニッコリ。

ヨットレースで活躍の今さん

本町ではあまりなじみのないマリンスポーツのヨットレースで活躍中の今源浩さん＝写真左＝（35歳・新川上町）。

今年の大会では、銭函、北海道知事杯、オホーツク、くしろ港まつりヨットレースに優勝、北海道選手権大会で準優勝。年間のシリーズ戦でも見事チャンピオンになるほどのすばらしい成績を収めています。

現在、根室管内のマリンスポーツ仲間四十人ほどで構成する「根室セイリングクラブ」のヨット部門の「フリートクラブ」のキャプテン。「将来、標津で大会を開くことが夢。ヨットを始めてみたい方、一度乗ってみたい方はご連絡を」と今さんは話しています。

あきあじまつりで賑わう

町観光協会（千葉元会長）主催による第三十三回しべつあきあじまつりが九月二十八日、サーモンパーク広場で開かれ、あいにくの雨模様にもかかわらず約六千人の人々が会場に詰め掛け、賑わいを見せました。恒例となったイクラ丼の千食無料提供では、時間前から長蛇の列ができる人気ぶり。サケのつかみどり＝写真＝では、水槽のサケを夢中で追う姿に観客から笑いが起こっていました。このほか、サケの原価販売やサケづくしのあきあじ鍋、串焼き、そば、チャンチャン焼きなどの店が並ぶ「標津グルメ村」が店開き。イベントでは、沖縄旅行ペア招待券などが当たるおなご衆豊漁もちひろい大会が行われるなど、賑わいを見せました。

自衛隊標津分屯地創立40周年記念行事開催

陸上自衛隊標津分とん地創立四十周年を記念して十月四日、文化ホールを会場に落語・漫才・歌謡ショーが開かれました。元自衛隊の三遊亭吉窓さんの落語や、すず風にゃんこ・金魚さんの漫才などに会場を訪れた約二百二十人の町民は楽しいひとときを過ごしました。

ソフトバレーボール大会で見事全道優勝

ブロックフェスティバルソフトバレーボール北海道大会が九月二十日、二十一日の両日、北見市総合体育センターで行われ、本町から出場した「川北すずらん」（下本友子代表・十一人）が、強豪チームを破り、初出場で見事優勝を飾りました。

チームの全員がバレーボール経験者。三年前からソフトバレーボールを始め、町内の大会では負け無しのチームに。

下本代表は「日頃一緒に運動している仲間と全道大会に出場し、優勝できてとてもうれしい。生涯スポーツの一環としてこれからも続けていきたい」と話しています。

はまなす苑でボランティア交流・一日体験

「中学生と高校生のボランティア交流会」（標津中高連絡協議会・煙山定男会長主催）と「中学生老人ホーム一日体験」（はまなす苑主催）が九月二十七日、はまなす苑で行われました。

ボランティア活動の大切さを認識し、この活動を通して中学生と高校生の交流を図り、また、老人ホームでの利用者の生活にふれ、お年寄りとの世代間交流を行い隣人愛を育むことなどが目的。

参加したのは、各校からの代表の中学生二十四人と標津高校生のボランティア局員のメンバー十六人。高校生がリーダー役となり、お年寄りや体の不自由な人の車イスの乗せ方やシーツ交換のほか手話・点字を中学生に親切に実践指導。

その後、お年寄りとのビンゴなどのゲームを楽しみながら、みんなで交流を深めました。

交通安全願い街頭啓発

古多糠・薫別小中

古多糠小中学校の児童、生徒、教員など三十七人が十月四日、同地区市街の交差点で街頭啓発を行い＝写真上＝、ドライバーに交通安全を訴えました。児童、生徒たちは、この日のために大切に育ててきた花の種や「安全運転で気をつけて」と書かれた手紙。啓発用パンフレットを交通安全の願いを込め、ドライバー一人ひとりに手渡しました。

また、十月八日には、薫別小中学校でも実施＝写真下＝。児童、生徒十七人と教員などが学校近くの国道で「シートベルトであんぜんうんてん」と書かれた手書きのシールと安全運転のしおりをドライバーに手渡し、児童や生徒から「運転に気をつけて」と呼び掛けました。

下水道の知識深める

川北で下水道フェア

下水道に関する関心と理解を深めてもらおうと、下水道フェアが九月二十一日、川北生涯学習センター前駐車場で開かれました。

全国下水道促進デーの一環として実施され、会場では、トイレ用品メーカーのキャラバンカーによる水洗用便器の展示や下水道終末処理場の模型による汚水処理の実演などのほか、臨時下水道相談室では、川北市街地区の受益者分担金や排水設備工事に関することなど数多くの相談が寄せられました。

また、子供コーナーでは、わたあめや風船などの無料サービスも実施。

会場を訪れた親子連れなどの町民は、楽しみながら下水道の知識を深めました。

★臨時下水道相談室に寄せられた相談の主な内容は次のとおりです。

Q 川北市街地区の下水道工事の範囲は？

A おおむね、北一線と南一線及び東一号と西一号に囲まれた区域から、北は平川橋、南は染覚寺までが全体計画区域です。

Q 川北市街地区の受益者分担金の額は？

A 現在検討中であり、まだ決定されていません。今後供用開始までに決定されます（ちなみに標津市街地区は、土地一㎡あたり二九五円です）。

Q 宅地内排水設備工事の個人負担の範囲は？

A 公共汚水桝から上流側（建物側）の工事が個人負担となります。

遠くにありて故郷を想う
東京標津会

9月28日、第19回東京標津会の総会が東京都渋谷区の東急文化会館で開かれ、約120人の愛郷者が出席しました。

総会では新たに会長に松実和裕さんが選任され、地元から小田桐町長をはじめ、荒谷議会議長、鈴木漁協組合長、農協、商工会の代表など関係者も出席し会を盛り上げました。

また、会場では本町の特産品の販売やサケの新巻、ホタテ、チーズなどが当たる抽選会も行われ、ふるさとの味覚を手に懐かしい昔話に花を咲かせていました。

標津と川北を結ぶ懸け橋に白樺を植樹

「晨を創る町民会議」のメンバーで構成する「白樺並木を創る会」（韮沢喜代司代表）は、町民に呼び掛け十月十二日、道道川北茶志骨線沿いの町有地に白樺の植樹を行いました。

同会議が中心となり制定した「標津町景観ガイドプラン」が目指す潤いのあるまちづくりの実現に向け、将来標津地区と川北地区を結ぶ懸け橋にしようと昨年同会が発足し実施したもので、今回の植樹は昨年に引き続き二回目。今回植樹した苗木は「活力と潤いとやすらぎのあるまちづくり事業補助金」を利用して購入したもの。

この日は、小中学生を含む三十一人の有志が参加。参加者たちは、約五百メートルの区間に白樺の苗木二百五十本を、支柱を添え、一本一本丁寧に植えていき、美しい白樺並木に成長する日を楽しみに汗を流していました。

なお、今年六月には建築士会中標津支部でも五十本を植樹。昨年の植樹分も合わせ、並木の長さは約千五百メートルとなっています。

白樺の苗木を植えたみなさん

農業NEWS

農村花嫁対策で都市の女性との交流会開く

十月四日、五日の両日、町農業後継者対策協議会主催による地元農村青年と都市の女性との交流会が開かれました。

農村花嫁対策の一環として、女性を迎える農村青年側の主体的な企画のもとに開かれ、サーモン科学館や標津川などの本町の名所の見学や、特に環境・経済面で優れた先進農家を視察するなど、親睦・交流を深めました。

同協議会では、このような都市の女性との交流を今後も様々な形で行うことを検討しています。

クリーン農業目指し飼槽改修事業スタート

町乳質改善協議会は、このたび北海道の単独補助（五〇％）を受け、モルタル樹脂液を利用した低コストな飼槽改修のモデル（北海道農業元気づくり）事業を開始しました。

目的は飼槽の整備を行うことによりサルモネラ症などの疾病防疫や牛舎の環境改善を図り、高品質な生乳生産と所得の向上を目指すとともに、クリーン酪農のイメージアップをより一層推進しようとするものです。

事業は町内三十四戸のモデル農家で実施され、十二月末には完了する予定です。

※飼槽とは…牛に食べさせる飼料を入れる固定された容器または容器状の構造物

みんなの広場

みんなの声を
このコーナーに
お寄せください

川柳

ドラマより政変ニュース引きつける　小路惣一郎
落ちたくはないと木の葉がひっかかり　〃
ある時は総理のつもり国思う　〃
ママごとのパパそれなりにすましてる　戸村　寿生
棟上げの祝い餅人の賑わう　〃
手を打てば鮒浮き上がるあきら川　〃
長雨に床ずれおこす赤クロバー　太田　明人
牛と妻牛舎で角のたけくらべ　〃
針の穴通す気があー腹が立つ　渡辺　孝子
旬なのにそっぽを向かれる鮭料理　〃
職場でもＦＡ宣言してみたい　木枯紋次郎

あすぱるの展示コーナーは一般の作品も展示できるの？

Q 生涯学習センター・あすぱるの展示コーナーをいつも楽しみに拝見させてもらっています。様々な優れた作品が展示されており、感心しています。

自信はありませんが、今度自分も何か出展したいと思っています。自分のような一般の人でもこのコーナーに出展させてもらえるのですか？

A この展示コーナーは、幅広い方々の文化作品などをご覧いただくスペースとして設けています。あすぱるがオープン以来、絵画、版画、書道、写真、陶芸、手芸など文化サークルや個人で多くの方々の作品を展示し、人気を集めています。

ご質問については、サークル、個人を問わずだれでも出展できますので、お気軽にお申し込みください。なお、展示期間はおおむね二週間としています。みなさんの出展をお待ちしています。

幅広い作品が展示されている「あすぱる」の展示コーナー

★申し込み・お問い合わせ先
生涯学習センター・あすぱる（☎2―2900）まで。

ご意見やご要望などお寄せください

〈あて先〉
標津町字標津3-5
役場広報統計係
「みんなの広場」コーナーまで

このコーナーでは、町や広報紙に対するご意見や要望などをお待ちしています。なお、匿名や個人・団体の中傷となるものはご遠慮ください。

新町民にスポット

染谷英男（そめやひでお）さん

「魚釣りを楽しんでいます」

「毎日大好きな魚釣りを思う存分楽しんでいますよ」と笑顔で話す染谷さん（曙町・62歳）。

乳製品会社で中標津、別海の各工場で勤務し、九州・福岡統括支店を最後に定年退職。その後北海道に戻り白老町に新居を建てましたが「元気なうちは楽しいことをして暮らしたい」と、奥さんを残し、単身で大好きな魚釣りをするため、平成七年七月に標津町へ。

「このまちは山や海がありとても自然が豊富。ゆったりした生活ができます。特に水がおいしいですね」と、すっかり標津が気に入った様子。

釣りでは、海釣りが主で、九月から十月はサケ、十月から十一月はイカなどと年間スケジュールを立て、ご自慢の船で毎日沖へ。「今年は〝不漁〟でしたが、来年は〝豊漁〟を期待して来年は、はまなす苑のお年寄りの方にもおいしい魚を届けたいものです」

「最近、釣り人のマナーが悪くなってきており、ゴミや空き缶などの投げ捨てがあちこちで見受けられます。釣り人自身はもとより、船長からも指導してもらえれば…」

趣味は魚釣りのほかスポーツ観戦。福岡県にいた時は、福岡国際マラソンに会社の選手も出場していたので、よく応援に行っていたそうです。

SHIBETSU SALMON PARK
標津サーモンパーク

情　報

秋の実習を行います

参加者募集中　サーモン科学館

標津サーモン科学館では、次の日程で秋の実習を行います。各実習とも定員は二十名ですので、お早めにお申し込みください。参加料は無料です。

サケの採卵実習の模様

・実習日程

①11月2日（日）10時～15時
〈サケの採卵実習〉
②11月3日（月）10時～15時
〈産卵行動観察会〉
③11月9日（日）10時～15時
〈サケの採卵実習〉
④11月16日（日）10時～15時
〈サケの採卵実習〉
⑤11月23日（日）10時～15時
〈産卵行動観察会〉
⑥11月24日（月）10時～15時
〈サケの採卵実習〉
⑦11月30日（日）10時～15時
〈サケの採卵実習〉

・内　容

▽サケの採卵実習―シロザケの人工受精作業と産卵行動観察
▽産卵行動観察会―科学館、忠類川でシロザケの産卵行動を観察

・参加要領

▽住所、氏名、年齢、電話番号、希望日を明記の上を葉書またはＦＡＸでお申し込みください。なお、科学館受付でも直接受け付けます。参加要領の詳細は後日連絡します。

・集合場所

▽サーモン科学館2階のサケ談話室

・参加者が用意するもの

▽昼食、汚れてもいい服装、軍手、タオル。産卵行動観察会に参加する方は長靴（胴付き長靴がベスト）、防寒着も必要です。なお、偏光グラスをもっている方は持参してください。

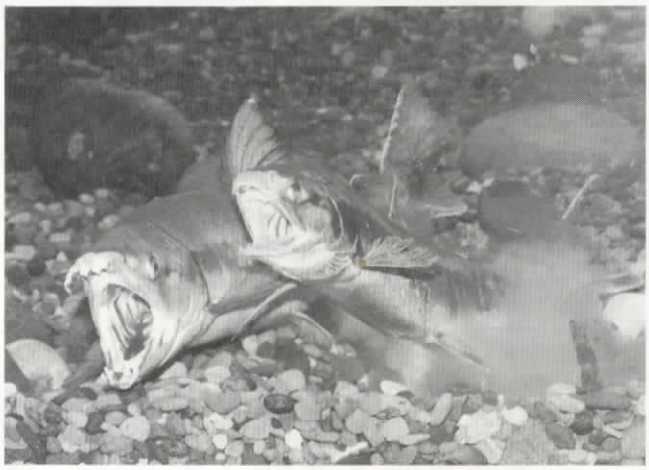
・締切日

▽各実習を実施する日の前日

・申込先

▽標津町字標津一三二六―二
標津サーモン科学館
☎2―1141
FAX2―1112

〝シロザケの産卵シーン〟見られます



11月の見どころ

10月までたくさんのサケがそ上していたサーモン科学館の魚道水槽ですが、11月からはシロザケの産卵行動をお見せするコーナーに切り替わりました。

普段、見られない興味深い行動をぜひご覧ください。

年間券を知っていますか？

年間券は発行日から一年間に何回でもサーモン科学館に入館できる券です。

この券に貼る写真は証明写真ではなく、普通の写真を切り抜いて使用してもかまいません（サイズは、おおむね縦2・5㎝、横2・0㎝）。

ご利用になれる方は、お気軽に受け付けにお申し出ください。

尚、料金は次のとおりです。

◆大　人…2、000円
◆高校生…1、000円
◆小中学生…　500円

国民年金コーナー

国民年金は世界一の長寿を支えています

国は、このほど「平成８年簡易生命表」を発表しました。

それによると、男性77.01歳、女性83.59歳で、男性は初めて77歳台に乗り、男女差は6.58年で昨年より0.11年拡大し過去最大の差となっています。

また、昨年に比べ男性は0.63年、女性は0.74年の伸びを示しています。

老後を支える国民年金はますますその力を発揮し、皆さんの老後を確かなものにします。

満額の国民年金受給のため、毎月の保険料の納付を心がけましょう。

11月６日～12日は年金週間

年金詐欺にご用心

市職員を装って一人暮らしの年金受給者から現金をだまし取る事件が、道北を中心に道内で相次いで発生しています。

あるケースでは、市の職員を名乗る男が無職老人女性宅を訪れ「あなたの国民年金が月額２万円増額されるが、口座を開く金がいる」などと偽り信用させ、５万円をだまし取るというもの。

このようなことが起きないためにも、職員を名乗った場合は身分証明書の提示を求め、訪問の不審の場合は直接町に連絡されるようお願いします。

★相談お問い合わせは、住民課国民年金係（☎内線121）まで。

労働

地域活性化のため学卒者の採用を

高等学校卒業予定者の選考及び採用内定は９月16日から開催されていますが、道内の景気回復の遅れから、９月現在の求人数は昨年の同時期と比べて６.５％減少。内定率でも９.５％と、８.０ポイントも下回っており、昨年以上の厳しい状況となっています。このままでは、就職浪人という事態も予想されます。

若年労働者の確保は、言うまでもなく地域及び企業の活性化に不可決な重要課題です。事業主の皆様には、高齢化が進む状況の中で、将来必要となる人材確保のため今一度新規学卒者の採用計画をご検討され、ハローワークに求人の申込みされるようお願いします。

★お問い合わせは、根室公共職業安定所中標津分室（０１５３７－２－２５４４）まで。

みんなの掲示板

フリーマーケット開催！ 双葉町内会

双葉町内会では、リサイクルを目的に７月６日に婦人部が中心となって行ったフリーマーケット＝写真＝が大好評だったことから、引き続き今年２回目のフリーマーケットを次のとおり開催します。

■日　時　11月16日(日)
　　午前10時～午後２時
■場　所　標津地区生活館
　　（旧まるよし商店向かい）

町民のみなさんに広報紙のスペースの一部を「みんなの掲示板」として開放しています。

掲載を希望される方は、企画振興課広報統計係（☎内線１１０）までご連絡ください。
（ただし、営利などを目的としたものはご遠慮ください）

町長の動静

（９月21日～10月20日）

＝主なもの＝

９月23日　川北地区敬老会（町内）

９月24日　全国都道府県・政令指定都市北方対策主幹課長会議（町内）

９月25日　釧根商工会々長会議（町内）

９月28日　東京標津会総会（東京都）

10月２日　北海道町村会理事会（虻田町）

10月３日　北海道開発体制の維持・充実を求める道民緊急総決起大会（札幌市）

10月５日　自衛隊標津分屯地創立40周年記念式典・祝賀会（町内）

10月６日　北海道開発庁統廃合問題に係る要請行動（東京都）

10月13日　久留米大学医学部訪問（福岡県久留米市）

10月20日　国有林野事業の組織体制等に関する中央要請（東京都）

防災

11月9日は「119番」の日です

■１１９番の正しい通報のしかた

何が起きたかはっきりと

「火事です」「救急です」

◇火災の場合は…

・住所、氏名、目標、どこから火が出たのかをはっきりと伝えてください。

◇救急の場合は…

・住所、氏名、目標などをはっきり伝えてください。

・急病または交通事故など事故種別と負傷者の容態や人数をはっきり伝えてください。

あなたの職場で救命講習を受講しませんか

近年、救急隊が現場へ到着するまでの間の家族や関係者による応急手当、ＣＰＲ（心臓、肺の機能の停止を蘇らせること）の重要性が注目されています。

標津消防署としても、労働災害などへの対応として各事業所でこれらの重要性を認識していただきたく、職場ぐるみでの受講を推進していますので、あなたの職場でもぜひ救命講習を受講してみませんか。（写真は10月２日標津営林署での救命講習の模様）

★申込み・お問い合わせは、標津消防署（☎２－２３１９）まで。

最低賃金

最低賃金が改正されました

道内で事業を営む使用者及びその使用者に使用される労働者（臨時、パートタイマー、アルバイトなどを含む）に適用される北海道最低賃金が次のとおり改正決定され、10月から施行されています。

■最低賃金額

日　額　４，８８６円

時間額　　６１１円

★お問い合わせは、釧路労働基準監督署（☎０１５４－４２－９７１１）まで。

郵便局

お年玉くじつき年賀はがき発売中

お年玉くじつき年賀はがきが、今年も10月31日から全国一斉に発売されています。

種類は、無地、版画やプリントゴッコに最適なコート紙、絵入りで寄付金つきなど４種類。

お早めにお買い求めください。

★お買い求めは、お近くの郵便局まで。

戸籍の窓口から

（９月11日～10月10日届出分）

ご結婚おめでとう

夫の氏名	妻の氏名	住所
石塚　智行さん	阿部利津子さん	鳩ヶ丘町
林田　光弘さん	堀　裕美さん	古多糠
櫛谷　祥司さん	原　みちさん	南川北
和田　託真さん	土島　伸美さん	桜ヶ丘町
朝倉　一正さん	村上　幸子さん	望ヶ丘町
伊藤　正美さん	早川　恵幸さん	旭　町

お誕生おめでとう

おなまえ	住所	保護者の氏名
谷内　未来（みく）ちゃん	若草町	谷内　透夫　美小夜
花田　稔希（としき）くん	鳩ヶ丘町	花田　裕次　麻里子
菅野　直美（なおみ）ちゃん	茶志骨	菅野　孝　信代
長谷川大陸（たいりく）くん	弥栄町	長谷川　裕之　眞実

おくやみ申し上げます

氏名	住所	年齢
齋藤　勝男さん	東川北	７２歳
伊藤　昇さん	緑　町	７３歳
堀　千萬喜さん	上古多糠	７５歳
田村　一二さん	崎無異	７１歳

寄付・寄贈ありがとうございました

●北方領土返還運動啓発費として町に――

・ゼンセン同盟青年委員会

●体育文化振興基金として町に――

・湯浅清吉さん

・ヨガサークル（代表：千葉元さん）

・ふれあいスポーツデー実行委員会（会長：対馬武二さん）

●町社会福祉協議会に――

活動資金として

・聖友標津支所

香典返しをやめて

・斉藤スエさん・大菅貞行さん

・伊藤信幸さん（美瑛町）

●はまなす苑に――

・工藤王さん

・古多糠老人クラブ（会長：吉田昇さん）

●標津病院に――

・入江タカさん・大菅智恵子さん

・長谷川哲雄さん

・古多糠老人クラブ（会長：吉田昇さん）

●図書館に――

・手をつなぐ親の会（会長：渡辺文雄さん）

●ポー川史跡自然公園に――

・龍雲寺・熊谷栄一さん

スポーツ

☆11月のスポーツ☆

2日（日）

◇町バドミントン交流大会
〔9時30分～総合体育館〕

3日（月）

◇第20回秋季町民卓球大会
〔9時～総合体育館〕

8日（土）・9日（日）

◇管内スポーツ少年団認定指導員講習会
〔13時～総合体育館〕

9日（日）

◇管内秋季高校バレーボール選手権大会・管内バレーボール総合選手権大会
〔19時～総合体育館〕

12日（水）

◇第16回バレーボールリーグ戦大会開幕
〔19時～総合体育館〕

16日（日）

◇町スポーツ少年団レクリエーションカーニバル
〔9時30分～総合体育館〕

22日（土）

◇第14回標津支部空手道大会
〔13時30分～鳩ヶ丘体育館〕

30日（日）

◇第5回親睦ソフトバレーボール大会
〔9時30分～総合体育館〕

11月の健康相談・健診日程表

乳幼児

■乳幼児相談
18日（火）〈標津〉
〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分／保健福祉センター「ひまわり」〕
※午前の部　10・13ヵ月児、午後の部　4・7ヵ月児対象
20日（木）〈川北〉
〔13時30分～14時30分／川北生涯学習センター〕
※4・7・10・13ヵ月児対象

■歯ピカ教室
10日（月）
〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分／ひまわり〕

成人

■一般健康相談
28日（金）
〔13時～16時／ひまわり〕

■糖尿病健康相談（予約制）
20日（木）
〔10時～12時／ひまわり〕

妊婦

■ママスクール
7日（金）
〔10時～12時／ひまわり〕

★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」（☎2-1515）までお気軽にどうぞ…

ごみの収集日

曜日	一般廃棄物収集区域（祭日は休みです）〈有料〉	不燃物収集日〈無料〉
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	11月6日(木)・11月20日(木) 11月27日(木)・12月4日(木)
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・ 桜木町・住吉町・東浜町	11月7日(金)・11月21日(金) 11月28日(金)・12月5日(金)
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	11月5日(水)・11月19日(水) 11月26日(水)・12月3日(水)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

町民憲章

◇健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。
◇自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。
◇たがいに助け合い暖かい社会をつくりましょう。
◇心を豊にし文化を高めましょう。
◇子どもの夢を育て平和な町をつくりましょう。

（昭和46年11月3日制定）

税

年末調整・決算説明会が行われます

■個人（青色）事業者
日時：11月25日(火)　10時～12時
場所：町商工会
■法人・官公庁・個人（白色）事業者
日時：11月25日(火)　14時～16時
場所：町商工会
★お問い合わせは、根室税務署（☎０１５３２－３－３２６１）まで。

相談

「特設人権相談所」が開設されます

次のとおり「特設人権相談所」を開設します。費用は無料で秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。
■日　　時　12月８日(月)
午後１時～４時
■会　　場　あすばる
■相 談 員　法務局職員、人権擁護委員
■相談事項
夫婦親子、金銭貸借、不動産、相続、借地借家、いじめ、体罰、名誉信用、差別、公害、その他心配ごと
―私のまちの人権擁護委員―
・疋田敏一（栄　　町）☎2－2103
・渡辺文雄（川北寿町）☎5－2837
★相談所開設以外でも随時相談に応じています。

ご存じですか「検察審査会」

交通事故、詐欺、おどしなどの犯罪の被害に遭い警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を起訴してくれない。このような不満をお持ちの方のために、検察審査会があります。
費用は無料で秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。
★お問い合わせは、釧路検察審査会事務局(☎０１５４-４１-４１７１)まで。

募集

新築公営住宅の入居者を募集します

■募集住宅（緑団地Ｆ棟８戸）
◇身障者向け２ＬＤＫ住宅　１戸
床 面 積：61.12㎡
月額家賃：22,100円～36,800円
◇一般世帯向け２ＬＤＫ住宅　１戸
床 面 積：61.12㎡
月額家賃：22,100円～36,800円
◇一般世帯向け３ＬＤＫ住宅　６戸
床 面 積：74.94㎡
月額家賃：27,100円～45,000円
※月額家賃は、平成10年３月までの家賃となっています。
■入 居 日　12月５日(金)以降
■申込期限　11月20日(木)
★申込み・お問い合わせは、建設課住宅管理係（☎内線２１２）まで。

「祭りをやろう会」のメンバー募集中

「祭りをやろう会」では、より多くの方々からの意見を祭りに反映させるために、新たなメンバーを募集しています。新たなメンバーには専門的部会（例えば踊り、太鼓など）に入っていただき祭りづくりに参画していただくことになります。
伝統の祭りを創造するため、一人でも多くの方の参加をお願いします。
★参加希望・お問い合わせは、同会（事務局：水産商工観光課〔☎内線216〕）まで。

「広報しべつ」新年号の表紙写真を募集中

町では、「広報しべつ」新年号の表紙の写真を募集しています。
■締切日　12月５日(金)
※写真はカラーに限ります。また、使用した写真は必ず返却します。
★提出・お問い合わせは、企画振興課広報統計係（☎内線１１０）まで。

保健

再度ポリオの予防接種を

厚生省の調査によると、昭和50年から52年に生まれた方は、ポリオ(小児マヒ)の免疫を保有している方の割合が他の年齢層に比べて低いことがわかりました。現在、日本には、ポリオウィルスはいないと考えられていますが、免疫を持っていない方がポリオの発生している国に旅行などをした場合や、極めて稀ですが子供がポリオワクチンを受けた時に、子供から感染する可能性もあります。
このことから、昭和50年から52年に生まれた方は再度ポリオワクチンの予防接種を受けることをお勧めします。
なお、この予防接種を希望される方は任意の予防接種となり、費用は自己負担となります。
詳しくは、11月28日(金)までにお問い合わせください。
★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」(☎２－１５１５)まで。

「在宅介護支援センター」への相談は24時間体制で受け付けます

「在宅介護支援センター」では、24時間体制で保健福祉に関する相談を受け付けています。費用は無料です。お気軽にご利用ください。
★相談・お問い合わせは同センター（☎２－１５８８）まで。

まちの声 (138)

「保健婦って何する人？」と思われるみなさんへ

すぎもとまみこ
杉本麻美子さん
（双葉町）
保健婦

「標津ってどんなまちなんだろう」。このまちで生活することを決めた時、私は標津にそれまで一度も訪れたこともなく、その場所さえも良く分からない状況にありました。

これから私の生活の場となるまちは一体どのようなまちなのだろうと、大きな不安を抱いていましたが、ある人の「標津の人はみんないい人だから」という一言にホッと胸をなで下ろしたのを覚えています。今年四月に標津町に移り住んでから半年が過ぎた現在、これまで出会った人達の顔を思い返しながらあの時の言葉は嘘ではなかったと確信しています。

私はこの春から保健婦として働き始めた社会人一年生です。町民のみなさんの中には、「保健婦って何者？」と思われる方もいるのではないでしょうか。そんな方々へ、この場をお借りして保健婦のPRをしたいと思います。

病院にはみなさんも御存知のように看護婦さんがいます。みなさんの住むまちを病院に例えると、看護婦の役割をするのが保健婦というわけです。保健婦は言わばまちの看護婦ということになりますが、その仕事の内容は看護婦とは大きく異なります。

病院には身体や心を病んだ人達が入院していますが、病院の外へ一歩出るとどうでしょうか。病気を持っていても家での生活が可能な人、病気一つしたことがない人、もしかしたらもう少しで病気になりそうな人…、様々な人がこのまちに住んでいるのです。まちに住むすべての人を対象に、みなさんが健康で明るく毎日を過ごしてゆけるような手助けをしているのが保健婦なのです。

なんだかエラソーに聞こえてしまうかも知れませんね。健康のための手助けなんて頼んでない！と思われるかも知れません。かなりおせっかいな職業なんです。でも自分の健康は自分の手で守ってもらいたい、そのお手伝いができればと思っています。

まだまだ勉強不足な私ですが、まちのみなさんからもいろいろなことを教えてもらいながら頑張りたいと思っています。

人のうごき

・人　口	6,620人	（＋ 4）
・男	3,214人	（± 0）
・女	3,406人	（＋ 4）
・世帯数	2,333世帯	（± 0）

◇平成9年10月1日現在
（　）は前年比

町内の交通事故

・人身事故	1件	（ 12）
・負傷者	1人	（ 20）
・死亡者	0人	（ 0）
・物損事故	27件	（180）

◇9月16日～10月15日まで
（　）は累計

交通事故死ゼロの日
812日
（10月20日現在）

編集のまど

▽今回、初めて海外研修派遣中学生と町長の座談会を開催。中学生ということで事前にいろいろと時間をかけて準備を重ねてきたはずでしたが、いざ本番となると「難しかった」。それでもみなさんに助けられ、掲載することができて「ひと安心」。たかが2ページ、されど2ページでした。▽海外研修は、すばらしい体験となりましたが、帰町後、その体験談を町長に話したこともきっと良い経験になったはずだと思います。中学生のみなさん座談会にご協力「ありがとう」。（H）

▽「新町民にスポット」で紹介した染谷さん。元気なうちは楽しいことをして暮らしたいと、趣味の魚釣りをするということはとても素晴らしいこと。しかし、奥さんを残してまでということはなかなかできるものではありません。それはやはり奥さんの理解があったからこそだと思います。▽この染谷さんを取材して、自分が今まで生活してきた中で、このように何か熱中させるような趣味を持っていない自分がはずかしいような気がします。▽何か自分もそういう趣味を早く見つけたいと思います。（M）

広報 しべつ
・発　行　日／平成9年11月1日
・編集・発行／標津町役場 総務住民部企画振興課広報統計係
〒086-16 北海道標津郡標津町字標津3番地5
☎01538-2-2131・FAX2-3011
・印　　刷／標津印刷（株）